

令和6年度施策評価シート（評価対象年度：令和5年度）

基本政策【分野】	災害や危険から命と暮らしを守る 強くなやかなまちづくり 【防災・安全分野】		施策	01_防災	所管部長 取りまとめ所属	危機管理担当部長 危機管理課	
施策の内容	災害に強いまちづくりに向け、市民一人ひとりの防災意識の向上と自主防災活動の充実等により、地域の防災力を強化します。また、災害発生時に迅速かつ確に対応できるよう、防災設備や備蓄等の整備を進めるとともに、情報伝達手段の充実や更なる関係機関との連携により、危機管理体制を強化します。						
めざす姿	地域全体で日頃から災害に備え、いざという時に迅速・適切な行動をとれる、災害に強いまちとなっています。						
重点事業	雨量情報整備事業		防災通信網整備事業		防災資機材助成事業		
施策構成事業	総合防災訓練事業費		自主防災活動育成事業費		防災行政用無線維持管理費		
	防災資機材等維持管理費		防災資機材等整備事業費		防災行政用無線整備事業費		
	土砂災害・水害対策事業費		危険ブロック塀等撤去奨励補助事業費				
評価							
進捗評価	順調		評価の判断理由	成果指標の実績値は、R9目標値達成に向けて現状値と比較し上昇傾向が見られます。また、重点事業及びその他施策構成事業についても、計画どおり進めることができたことから、施策全体が「順調」に進捗していると判断できます。			
施策推進上の課題・環境変化	令和5年度に改定した市地域防災計画では、減災目標を従来の東海地震からより多数の避難者が発生すると想定される首都直下地震に見直したことにより、避難所用の資機材等の公的備蓄の拡充を図る必要があります。また、能登半島地震の教訓から得られる今後の国・県等の知見等を踏まえた市の防災対策を推進していく必要があります。						
評価の経過	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	順調						
施策推進の方向性							
方向性	継続						
総評・今後の施策推進方針	重点事業の「雨量情報整備事業」はR5年度に機器整備等の完了により事業が終了しました。能登半島地震の教訓を踏まえ、R6年度から「避難所マンホールトイレユニット整備事業」を重点事業に位置づけ、桜台小（広域避難所）にトイレユニット及び収納庫を整備し、以降は下水道整備課にて基礎工事が完了した箇所について、順次トイレユニット及び収納庫を整備します。「防災通信網整備事業」のうち、次期移動無線機の整備は、大規模災害時に通信がつながることを重視しつつ、風水害等パトロール時など普段も利用できる機器の選定や適切な配備数を検討しており、国県の補助を活用した単年度予算での購入か複数年リース契約によりR7年度の整備を見込みます。「防災資機材助成事業」は、「共助」を担う自主防災会がその地域で必要となる防災資機材購入に対する助成制度を創設するもので、2～3箇年の限定的かつ集中的な整備補助を目指す方向で検討しております。						
成果指標							
成果指標名	現状値	R5 実績値	R6 実績値	R7 実績値	R8 実績値	R9 実績値	R9 目標値(方向性)
指標の定義							
防災訓練の延べ参加者数	2,083人 (R3)	3,374人					4,200人
1年間に防災訓練や防災教育に参加した市民や企業、防災関係機関等の人数							
災害への備えに取り組んでいる家庭の割合	47.1% (R4)	49.1%					↗
市民意識調査で「取り組んでいる」「どちらかといえば取り組んでいる」と回答した人の割合							
災害に対する市の備えが十分だと思う市民の割合	35.6% (R4)	35.9%					↗
市民意識調査で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合							

重点事業の取組内容			
事業名	雨量情報整備事業		
事業内容	局地的な大雨が常態化する中、雨量観測網の充実を図るため、渋田川の集水域に雨量計を設置するとともに、市民への情報提供体制を強化します。		
取組工程	項目	令和5年度	
		計画	実績
	雨量計の増設	増設	増設
雨量マップ等の改修	改修	改修	
令和5年度取組内容	●高部屋公民館に雨量計を設置するとともに雨量情報配信システムをリニューアルし、市ホームページやスマートフォンを通じて、観測データをリアルタイムに配信できるよう整備しました。		
事業名	防災通信網整備事業		
事業内容	神奈川県防災行政通信網の再整備に対応するため、設置機器の更新・整備を行います。 また、大規模災害時の通信途絶等に備え、災害対策本部や関係機関の通信手段を確保するため、次期通信システムとして、MCA無線を導入します。		
取組工程	項目	令和5年度	
		計画	実績
	県防災通信網の再整備	機器更新・整備 (標準分)	機器更新・整備 (標準分)
次期移動無線機の整備	検討	検討	
令和5年度取組内容	【県防災行政通信網の再整備】 ●最新の通信機能を備えた県防災行政通信網（第三世代）への再整備として、令和5年度は閉域スマホや会議モニター等の整備を実施し、防災関係機関からの迅速な災害情報の収集や円滑な情報の受伝達を図りました。 【次期移動無線機の整備】 ●各通信事業者へのヒアリングや各通信システムの通信品質テストなどを行い、次期移動無線機の検討を進めました。		
事業名	防災資機材助成事業		
事業内容	地域の防災力の充実・強化を図るため、共助の中心的役割が期待される自主防災会のニーズを踏まえた、資機材助成制度を創設します。		
取組工程	項目	令和5年度	
		計画	実績
資機材助成制度の創設	ニーズの把握	ニーズの把握	
令和5年度取組内容	●防災資機材助成事業の制度設計にあたり、アンケートを実施し、自主防災会（自治会）で必要とする防災資機材のニーズ把握を行うとともに他自治体の取組状況の情報収集を行いました。		
重点事業以外の取組内容			
令和5年度主な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●近年の全国各地で発生する自然災害や各種制度改正等を踏まえ、市地域防災計画を改定しました。 ●令和6年1月に実施した総合防災訓練は、能登半島地震直後のため雨天の中700名超の参加がありました。 ●令和5年5月に実施した風水害対策訓練は、関東大震災から100年を迎える節目のため山津波が発生した大山地区で実施しました。 ●防災資機材等整備事業では比々多小学校にマンホールトイレユニット及び収納庫を整備しました。 		